

## 2023 年度 学校関係者評価報告書

福島医療専門学校  
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会は「2022 年度学校自己評価結果」に基づいて学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告致します。

### 1. 開催日時・場所

日時：2023 年 11 月 12 日(日) 10 時 00 分～11 時 53 分

場所：福島医療専門学校 本部・柔整科校舎会議室および ZOOM によるリモート会議

### 2. 出席委員（敬称略）

#### 《企業等委員》

玉川 春美 (一社) 福島県歯科衛生士会 前会長

三瓶 直之 安積野さんぺい整骨院院長

#### 《学内出席者》

飯島 正治 校長

齊藤 慎吾 教務部長

鈴木 英明 教務副部長

柴田 佐智子 教務副部長

後藤 陽正 柔整科学科長

千木良 美歩 鍼灸科学科長

今泉 正子 歯科衛生士科学科長

鬼越 勇人 事務長

小池 一幸 事務次長

迎 美紀 総務課主任

### 3. 委員会の概要

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 2022 年度学校自己評価報告
- (4) 質疑応答・意見交換
- (5) 学校関係者評価委員による評価
- (6) 評価の公表
- (7) その他
- (8) 閉会

#### 4. 教育の目的・目標（以下に記載する内容は「学校法人福寿会」時のもの）

##### 《建学の目的》

##### 「福寿高尚の教育」

21世紀を迎え、生きがいのある「福寿」に満ちた長寿社会の構築を目指し、「医は仁術である」という崇高な精神のもとに「高尚」の教育を推進し、医療社会に貢献できる人間性豊かな人材を育成することを目的とする。

##### 《教育目標》

- ①深い教養と諸能力を持つ人間を育てる
- ②医道に奉仕する心を持つ人間を育てる
- ③自然を敬い、生命の尊厳を重んじる人間を育てる

##### 《教育方針》

- ①深い教養と諸能力を迫及する「創造教育」

グローバルな時代の中で、高い次元から「より深い哲学的教養を養い、文化を創造する能力」を育てる。

- ②倫理観と向き合い、人間愛にあふれた「医術教育」

医道を極めるにふさわしい臨床的技術を追求する過程において「思いやりと優しさに裏打ちされた奉仕の心」を育てる。

- ③美しいものに感動し、自然と人間のあり方を探求する「環境教育」

宇宙では、人間をはじめすべてのものは固有の生命を持ち、どれが中心ということはない。「生きとし生けるものは総て生かされている」という自然観を敬う心情を育てる。

##### 《2022年度重点教育目標》

■体験・体感させる教育の充実と拡大

■教育IT化の推進

#### 5. 項目ごとの評価・課題・意見

※評価は4(適切)を最も高く、1(不適切)を最も低いものとする。

##### (1) 教育理念・目標

評価項目	評価
1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
2) 医療専門学校としての医療人教育がなされているか	3.9
3) 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.9
4) 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが教職員・学生・保護者等に周知されている	3.9
5) 各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.7

##### <課題と改善方策および委員会の意見>

・大学化に向けての進捗と今後の方針、進め方はどうなっているか。

⇒準備を始めてはいるが、具体的に伝えられる段階にない。進展があれば報告したい。

・大学化に向けてはより質の高い教育の実践と社会のニーズに応え、地域で活躍する人材の育成に大きな役割を果たすことを期待した

い。そのためには、時代の変化に対応した養成目的や教育目標の見直しなどの検討も必要と考える。

## (2) 学校運営

評価項目	評価
1) 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4.0
2) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。事業計画の共通理解がなされているか	4.0
3) 運営組織や意思決定機能は、規則や校務分掌等において明確化されているか	4.0
4) 校務分掌における役割と職責が明確化され、有効に機能しているか	3.9
5) 人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.9
6) 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.9
7) 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.9
8) 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.0
9) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4.0
10) 組織内におけるパワーハラスメントやセクシャルハラスメントへの対策が図られているか	3.7
11) 学内で新型コロナウイルス感染症対策が図られているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・校内のあらゆる場面でオンライン化や ICT 活用が進められているが、効果的に活用しながら個人情報管理などの徹底をお願いしたい。
- ・働く教職員のモチベーションアップが人材確保や定着、さらにはスキルアップ、充実した教育活動の実施に繋がるので「働きやすい・働きがいのある職場づくり」をお願いしたい。また、教職員間の意思疎通を図るためにも、こまめに意見交換、情報交換を行っていただきたい。
- ・10) の評価が他と比べて低い。ハラスメントの研修を受けるなど対応していくともっと評価が上がるのではないかな。

## (3) 教育活動

評価項目	評価
1) 教育理念等に沿ったカリキュラムの編成・実施方針等が策定されているか	4.0
2) 一定の到達レベルを目標とした教育や学習時間の確保がなされているか	3.9
3) 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4.0
4) 医療人の職業教育という視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4.0
5) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.9
6) 関連分野における実践的な職業教育（産学連携による実技・実習等）がカリキュラムに組み込まれているか。	4.0
7) 授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0
8) 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.0
9) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0

10) 国家資格取得に関する指導体制を体系的に明確に位置づけているか	3.7
11) 教育理念、教育目標の達成に向けて、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.9
12) 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどの取り組みが行われているか	3.7
13) 関連分野における先端的な知識と技能等を修得するための研修や教員の指導能力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.8
14) 教職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.4

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・新型コロナの影響により臨床（臨地）実習が制限されることも多かったと思うが、回復しているか。  
⇒各科とも戻ってきているとの認識だが、学内の感染対策は継続中。外部ではまだまだ警戒する施設も残っている。
- ・歯科衛生士の活躍の場の多様化とチーム医療の実践に必要な資質を備えた人材の育成が求められていることから、臨床実習施設等と一層の連携を図りながら、充実した臨床実習をお願いしたい。
- ・卒業生や就職先を対象にアンケート調査を実施し、今後の教育や就職指導に活用できると良い。

#### (4) 学修成果

評価項目	評価
1) 就職率の向上が図られているか	4.0
2) 国家試験合格率の向上が図られているか	3.9
3) 退学率の低減が図られているか	3.3
4) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3
5) 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.9

<課題と改善方策および委員会の意見>

- ・国家試験の合格率はどのくらいか⇒直近で柔整科 88.8%、鍼灸科 95.2%、歯科衛生士科 94.8%
- ・柔整の国家試験合格率が昨年より上がり、継続した先生方の支援の成果を感じる。
- ・退学者、留年者についての状況を聞きたい⇒柔整科は退学者がやや増加している。金銭面、学業に関する理由が多い。鍼灸科は全体で6名ほどが退学。心因性の理由が多い。歯科衛生士科も精神的理由による休学、退学が増えている。
- ・入学後、資格や仕事に対して自身の適正の有無を考える学生もいると思う。そのような学生も上手く導きつつ、退学者低減への対策は引き続き取り組んでほしい。
- ・卒業生に対しての就職相談は行っているか⇒卒業生の来校時に求人情報を提供し、相談や紹介、提案と助言を行っている。
- ・成績の落ち込みによってモチベーションが低下し、退学する学生も少なくないと思うので、定期試験前のまとめ授業や再試験前の個別対応をお願いしたい。
- ・歯科衛生士の離職率が高いことから、卒業後の就職相談で再就職支援などを行い、離職率の改善につなげていただきたい。また、相談しやすいよう相談者の状況に合わせて、対面かWeb相談かを選択できるようにすると良いと思う。
- ・国家試験目前に学習意欲低下を起こす学生が例年いると思われる。一人一人の生徒と寄り添えるような仕組みがあると良いと考える。

## (5) 学生支援

評価項目	評価
1) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7
2) 学生相談に関する体制は整備されているか	4.0
3) 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.0
4) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0
5) 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4.0
6) 学生の生活環境への支援は行われているか	4.0
7) 保護者と適切に連携しているか	4.0
8) 卒業生への支援体制はあるか	4.0
9) 学生、卒業生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4.0
10) 高等学校や地域、業界団体との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4.0
11) 学生に対するパワーハラスメントやセクシャルハラスメントを防ぐ対策を講じているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

・専門実践教育訓練給付制度や奨学金制度を利用している学生は何人位いるか。

⇒現時点で専門実践教育訓練給付制度は鍼灸1名、歯科衛生30名。学生支援機構奨学金は3学科で198名、うち給付型は65名。

・コロナ、物価高など経済的な不安を抱える学生も少なくないと思うので、国や学校の制度活用を周知し、安心して学習できるようサポートしていただきたい。

・十分充実した制度が設けられているとの意見もあったが、誰にも相談できずに一人で悩んでしまう学生もいると思うので、カウンセラーの存在は重要だと思う。今後も教員とカウンセラーが連携を密に取りながら学生をサポートしていただきたい。また、カウンセリングは「敷居が高い」「抵抗がある」と感じる人もいるので、「気軽に話せる場」として定期的に相談窓口を設けるのも良いと思う。各科の特性はあると思うが、教員間で連携して学生を支援する体制を学校全体で取り組む体制づくりをしてはどうか。教員側にとっても一人で抱え込むことがないようにできる。事例の共有もできると良い。との意見が出された。

## (6) 教育環境

評価項目	評価
1) 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4.0
2) 学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4.0
3) 防災に対する体制は整備されているか	3.5

<課題と改善方策および委員会の意見>

・3) 防災マニュアルの整備により学生や職員の方々の働く環境の向上に繋がると思う。

## (7) 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1) 学生募集活動は、適正に行われているか	4.0

2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4.0
3) 学納金は妥当なものとなっているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

・学生の募集活動は具体的にどのように行われているか。入学状況は？

⇒HP や SNS、進路ガイダンスを利用した認知向上、来校促進活動を基本とし、外部訪問活動、オープンキャンパス開催と入学相談、入試サポートを行っている。2023 年度入学者は 3 学科で 121 名だった。

・HP もわかりやすくできていると感じる。

#### (8) 財務

評価項目	評価
1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.0
2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4.0
3) 財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4) 財務情報公開の体制整備はできているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

・学生募集は財務基盤の要であり、今後も定員充足に向けた活動が求められる。

・財務基盤の側面からも退学者の低減は毎年の課題である。

#### (9) 法令等の遵守

評価項目	評価
1) 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
2) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0
3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4.0
4) 自己評価結果を公開しているか	4.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

・引き続きコンプライアンス体制の強化に努めていただきたい。

#### (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0
2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか	3.6
3) 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実習しているか	3.4
4) 地域や町内の行事や活動、奉仕作業への参加など、地域と学校との連携を図っているか	3.0

<課題と改善方策および委員会の意見>

・依頼や案内がないと実施が難しいとのことだが、地域や関係機関、団体等に対して学校側からアピールしているか。

⇒柔整科には各競技から救護要請が来ており、本校からも地域スポーツに貢献できるよう大会等でアピールしている。鍼灸科でも依頼

があれば可能な限り対応しているが、現状では広報を通してのアピールが多い。歯科衛生士科では直接的なアピールができていない。毎年イベント等は参加するようにしている。

- ・医療活動への学び自体が社会貢献、地域貢献へ通ずるので、関係機関、団体等と連携を取りながら取り組んでいただきたい。
- ・社会貢献、地域貢献は、学校の良さや活動を地域に知ってもらい良い機会なので、積極的にアピールしていただきたい。

## 6. その他の意見

- ・退学者、留年者の問題は学生を取り巻く状況、問題の複雑化もあり、対策を講じても完全に0にできるものではないが、引き続き丁寧に対応してほしい。
- ・外部委員より、自己評価は概ね適正であるとの評価がなされた。